

アクセス マップ

「くじらしま」は、昭島市内の以下の3園で開催している地域の子育て支援事業です。

たまほいくえん

〒196-0033

東京都昭島市東町 5-1-40

☎ 042-544-1151

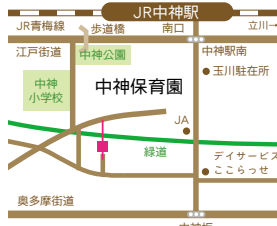


なかがみほいくえん

〒196-0025

東京都昭島市朝日町 5-4-17

☎ 042-545-0255



イコロ昭和の森

〒196-0002

東京都昭島市拝島町 4041-1

☎ 042-545-0156



KUJIRASHIMA・CONTENTS

子育て支援コンテンツ

「くじらしま」ではさまざまな子育て支援活動を行っております。地域で子育てをしている方はどなたでもご参加いただけます。(※スケジュールは中面をご覧ください。参加にはメンバー登録が必要なものもございます。メンバー登録はホームページ、または直接園にご連絡ください。)

イベントパーク(行事体験)

園の行事に参加、体験いただけます

デイリーパーク(体験保育)

親子で日常の保育生活を体験(お子さまの給食有。無料)

子育てワークショップ

ミュージックダンス、わらべうた、食育、子育て広場、子育てサークル

たまごパーク

妊婦さんや0歳児が対象の遊び場。身体測定も実施。

ひよこパーク

在園児以外のお子さまが対象の遊び場です。

育児相談(随時受付)

各園にて受付けています。時間はご相談ください。

園内見学(随時受付)

各園にて受付けています。時間はご相談ください。

一時預かり保育(有料)

地域のお子さまを対象に一時保育を行っています。受入れには所定の手続きが必要となり、また入所の定員等に空きのある場合で園に余裕がある場合に限ります。詳細はお問合せください。

多摩育児会の子育て支援事業「くじらしま」は昭島の子育てを応援しています!

こそだておうえんマガジン

くじらしまだより



もくじ	AUTUMN ESSAY	01
	こんなことあんなこと 一秋の行事	03
	てがきコラム「五感をつかって自然とあそぼ」	04
	よくある質問「園選び・申込みについて」	05
	ASOBI IRO IRO「運動とあそび」	06
	きせつのコトコト「しいたけ」	07
	ほけんのじかん「感染症のお話」	08

2018 AUTUMN

10-12月



AUTUMN ESSAY

100 km マラソン

10 年前から始まった多摩保育園恒例の100km マラソン。年長さんたちは、4 月1 日から卒園式の前日まで、1 年かけて合計100km を走ります。毎朝 9 時、少ないときは 10 名くらい、多い時はクラス全員 28 名が集まって、昭和公園をマラソンします。

マラソンと言っても、ただ走るだけではなく、昭和公園の緑豊かな環境を活かして自然の遊びなどを取り入れ、子どもたちが楽しく走れる工夫をしています。

たとえば夏は、公園の樹々の日陰を利用して、「日陰を探して走ろう！ 太陽に当たるとアイスクリームみたいに溶けちゃうよ」と、ゲーム感覚で走ったり。

そもそもこのマラソンは、午前中に運動することでお腹がすいたら、昼食をもっとおいしく食べることができるだろうというところから始まりました。距離を記録するカード（右下）は、走るのが苦手な子も楽しみながらゴールを目指せるように、馴染みのある電路線になぞらえ、ゴールもお泊まり保育で行く奥多摩にしています。

子どもの世界は、社会の縮図。男女平等や女性の社会進出、働き方の多様化など、

時代も変わっています。ひと昔前は「一斉保育」だった保育園の保育も、「個別の発達に合わせた保育」に変化しました。平成 30 年に改定された新しい保育指針でも子どもの個性を尊重し、「子どもの主体性を育む保育」が唱えられています。

同じ学年であっても月齢差があり、全ての子どもたちが同じ活動を行なうのは難しいのですが、子どもたちが“やらなければならないからやる”のではなく、主体的に“自分で選んでやる”ことのできる環境を、わたしたちは作らなければなりません。

幼児期の経験は大人まで持っていけるかけがえのないもの。100km を目指し、1 年かけて走りきった子どもたちは、目標を達成できたという“自信”を持って卒園します。これからも毎朝、わたしも子どもたちと一緒に走り続けたいと思っています。

語り手：
多摩保育園
岡崎園長

聞き手：
小林未央



こんなことあんなこと〈秋の行事〉

多摩育児会で行われている秋の行事をご紹介します。地域の方々との交流や、地域イベントへの参加など、子どもたちは園でたくさん思い出を作ります。（写真は去年の様子です。★マークは、園児以外の方も参加・見学できる行事です。）



運動会★

10 月 13 日（土）多摩保育園

保育園のお隣のグランドで行われる運動会。毎年多くの方が応援に来てくださいます。「親子で楽しむ field day」をテーマに親子で楽しい時間を過ごします。昨年は雨天のため



東小学校の体育館をお借りして行いました。地域のみなさんご参加いただけます。ぜひ、お越しください。



芋ほり

10 月 16 日（火）中神保育園

わくわくしながら畑まで歩きます。土の中に眠っているお芋を優しく掘って探し、しばらくすると…「みて、みて！」「おっきいよー！」といういろいろな所から歓声があがります。

自分たちで掘ったお芋は大事に園まで持ち帰ります。また、収穫祭でもみんなでおいしく頂きます。



ハロウィーン★

10 月 31 日（水）イコロ昭和の森

ハロウィーンの飾りつけをした園庭で記念撮影ができます。毎年、それぞれ好きな仮装をして、ワイワイとにぎやかに撮影を楽しんでいます。地域の親子の皆様もぜひご参加ください。



ログハウスにいる「魔女」を訪ねるとお菓子がもらえますよ。（※電話にて要予約）



FSC サッカー大会

11 月 6 日（火）昭和公園陸上競技場

毎年、色々な地域の保育園から 5 歳児が集まってサッカー大会を行なっています。昨年は 10 園が参加し、多摩育児会でも、多摩、中神、イコロの 3 園が出場しました。サッカーを通してチームワークや互いを譲り合う協調性、健全な心身の育成など楽しみながらフレンドシップを築いています。



五感もつかって自然とあそぼう

秋がやってきました。一年で一番、過ごしやすい、彩りも実りも豊か自然を楽しむには
ぴったりの季節です。ぜひ、ご家庭でも お子さまと一緒に身近な自然に触れ、子ども
“なれじろう”に寄り添いながら秋を楽しんでみてください。

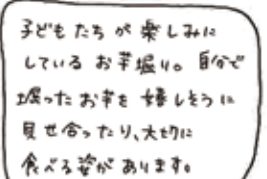
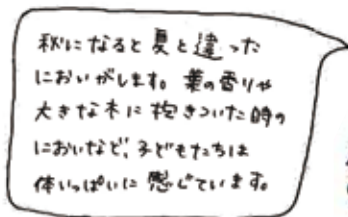
< 見つけてみよう >



< 耳をすまそう >

< 味わおう >

< 嗅いでみよう >



< つくってみよう・うたってみよう > ・ わらべうた どんぐりころちゃん

・どんぐりや葉っぱを使った制作



歌詞に合わせて、頭やおいもを振り、「ぽーん」と言いながらジャンプをします。



よくある質問お答えします

Q & A

“園選び・申込みについて”

来年度4月から入園を希望する方は新生活に向けての準備がそろそろ始まります。お子さまご家庭に合った園が見つかるといいですね。それぞれの特徴をまとめましたのでご参考にしてください。

	幼保連携型認定こども園	保育園	幼稚園
どんな施設?	幼保一体型施設(認定こども園法)	福祉施設(児童福祉法)	教育施設(学校教育法)
対象年齢	0歳児～就学前	0歳児～就学前	主に3歳児～就学前
支給認定区分	満3歳以上 1号認定(幼稚園部門) 2号認定(保育園部門) 満3歳未満 3号認定(保育園部門)	満3歳以上 2号認定 満3歳未満 3号認定	なし※1
入園の条件	1号認定:なし※1 2・3号認定:保育が必要な子ども	保育が必要な子ども	なし※1
入園の申込方法	1号認定:直接園に申込む 10月中旬より願書配布 11月頃入園テスト実施※1 2・3号認定:市町村の担当窓口※2	市町村の担当窓口へ申込む※2	直接園に申込む。 10月中旬より願書配布。 11月頃入園テスト実施※2

※1... 各園により異なりますので、お問合せください

※2... 4月入園希望の方は例年12月頃申込開始

2019年度園児募集

幼保連携型認定こども園イコロ昭和の森

【対象】1号認定=教育標準時間9:00～13:00を利用する園児

【募集人員】3歳児10名(平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれ)

4、5歳児は園へお問い合わせください。

【入園説明会・見学会】2018年10月11日(木)10:00～11:00(お電話にて要予約)

【願書配布】2018年10月15日(月)～10月26日(金)土曜日は除く10:00～16:00

【入園申込書受付】2018年11月1日(木)9:30

【入園テスト・内定】2018年11月1日(木)

受賞しました! TOKYO 保育フォトコンテスト



東京都民間保育園協会開催の“第1回 TOKYO 保育フォトコンテスト”で、多摩育児会は『おちばのじゅうたん』(会長賞)『魚みつけた!』(チャイルドブック賞)『ばあ!』『ねえねえあのね...』の4枚が入選しました。『おちばのじゅうたん』は子どもたちの日常を切り取った一枚。散歩中に、たくさん遊んだあるお子さんが「休憩しよう～」と寝そべったのをきっかけに「ばくも、わた

しも...」と休憩を始め、気付くと丸くなっていました。微笑ましく思った保育士がシャッターを切った一枚でした。入選写真は、都内各所でフォト展として巡回。昭島では11月17日(土)開催の『昭島市保育まつり』(昭島市 KOTORI ホール/11:30-14:30)にてご覧いただけます。皆さまのお越しをお待ちしております。詳細は『東京都民間保育園協会』『昭島市』のHPをどうぞ。





ASOBI IROIRO

あそび

VOL.3

運動とあそび

子どもたちは生まれてから2歳位までの間に、「はいはい」、「伝い歩き」などの発達を経て、「歩く」、「走る」、「上る」、「下りる」、「ぶら下がる」など全身を使った遊びを楽しむようになります。

「歩く」という動作の積み重ねで土踏まずが形成され、体の重心が取れるようになり、瞬発力や動作の切り返しに大きな影響を与えます。自分の思うように足が動けば歩くことが楽しくなり、やがて走り始めます。

「走る」という動作は、初めはまっすぐ進めず、ジグザグに走ったりふらついたりしますがバランス感覚がついてくると、自分の意思のままにスピードやコースを軌道修正しながら走るこ

が出来るようになり、飛び跳ねたり、転がったりとどんどん楽しさが広がっていきます。

肩や手首の関節が自由に動かせるようになるとボールを投げたり受けたり、うんていにぶら下がったり、縄跳びを回したり等、全身を使う遊びに発展します。様々な経験から自分の体をコントロールできるようになると、鬼ごっこやドッジボールなど友だちと一緒に運動する楽しみが広がっていきます。

運動することで動体視力が高まり、瞬発力・柔軟性が身につきます。バランスを取る事（平衡感覚）で、鍛えられる筋力のことを体幹といいます。体幹が育てば椅子に座っていても背骨をまっすぐに維持することができ、集中力もつくので、行動に対しての意欲や自信へと繋がります。

一番大切なことは、『楽しく遊び感覚で（ときには全力で）運動をする事』。やらされている、訓練されているといったことのないように取り組んで欲しいと思います。



きせつのコトコト

“しいたけ”

毎年、寒い時期にホダ木に穴をあけ、【しいたけ】の菌駒を木槌で打ち込みます。園内の日陰でじっくりと寝かせ、秋になる頃、によきと【しいたけ】が顔を出します（春にも出ます）。1つ出てくると次々とたくさんさんの【しいたけ】があつという間に出てきます。その【しいたけ】を採って、ホットプレートで焼いてペロリ。菌駒を打つ（種をまく）→観察（育てる）→自分で収穫→目の前で調理（手伝い）→食べる＝苦手な子も好きになる食育の魔法です。



+ ほけんのじかん +

感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が、体内に侵入して増えることで引き起こされる病気の総称です。子どもは1年間に10回は感染症にかかると言われてます。感染症とうまく付き合っていくためにはどのような事を知っておけばよいでしょうか？

●ウイルス感染症と細菌性感染症

例えば、風邪の原因はウイルスです。ウイルスが鼻やのどにくっついて炎症を起こし、くしゃみ、鼻水、せき、たん、のどの痛み、発熱などができます。他にも有名なウイルス性感染症としてインフルエンザやノロウイルスなどがあります。

では、細菌が引き起こす感染症はどんなものなのでしょうか？「肺炎球菌による肺炎」、「サルモネラ属菌による食中毒」、「溶連菌による咽頭（いんとう）炎」などがあります。（※ウ

「感染症のお話」

イルスも肺炎や咽頭炎などを起こすことがあるので、〇〇ウイルスによるウイルス性肺炎などと呼んで区別しています。）

●感染症の治療法

基本的に、細菌性感染症の治療には抗生物質、ウイルス性感染症の治療には抗ウイルス薬が使われますが、多くのウイルスに対して抗ウイルス薬が未開発のため、風邪の治療には対症療法（解熱剤や咳止めなど）のお薬しか処方されない場合が多いです。

つまり、感染症にかかった時にいつでも頼れるのは、お薬ではなく、自分の免疫力だけということです。このような事を認識して、平素から免疫力を高める生活を心掛けましょう。特に、感染症にかかってしまった時には、十分に休息と栄養をとって、自分の免疫力で感染症に打ち勝てるようにしましょう。